



2025年3月19日

各 位

会社名 中央発條株式会社
コード番号 5992 東証スタンダード・名証プレミア
代表者 代表取締役社長 小出 健太
問合せ先 総合企画部長 藤田 誠一
T E L 0 5 2 - 6 2 4 - 8 5 5 0

当社藤岡工場 第3工場事故に関するお知らせ（第5報）

2025年3月6日（木）、当社藤岡工場の第3工場におきまして、設備の一部で爆発事故が発生いたしました。

この事故により、当社従業員1名がお亡くなりになり、2名が負傷いたしました。

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対し心よりのお詫びとお悔やみを申し上げます。

また、近隣の皆様を始め、株主の皆様、お取引先様など多くの方々に多大なるご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

現在、爆発の原因について、究明作業を続けております。今後、二度とこのような災害を起こさぬよう再発防止を徹底していくとともに、皆様に安心・信頼して頂ける生産・供給体制の構築強化に努めてまいります。

なお、本件の弊社連結業績に与える影響は現時点では精査中でございます。詳細が判明しましたら、2025年3月期の業績見通しとしてお知らせいたします。

記

（事故概要）

- 発生日時 : 2025年3月6日（木）8時5分頃
発生場所 : 当社藤岡工場第3工場（愛知県豊田市深見町向イ洞 1071-1）
事故概要 : シャンばね（コイルばね）生産ライン集塵機での爆発
人的影響 : 社員1名死亡、2名軽傷
物的影響 : 建屋：シャッター、窓枠など外壁、屋根、床面の一部が破損
設備：ショットピーニング機の集塵機

（事故発生当時の状況）

- ・当日午前6時20分頃に稼働を開始したところ、集塵機のダストを除去するフィルターの目詰まり状況を把握するための差圧計が異常値を示した。
- ・差圧計異常値時の対応標準に従い、作業（フィルターのエア洗浄装置の動作確認、未動作洗浄装置の手動操作等）を実施中に、集塵機内のダストが粉塵爆発を起こした。
- ・作業者は当社作業標準に従って作業しており、人的ミスではありません。

(現時点の再発防止策)

① 実施済みの施策

- ・ 3月8日（土）9日（日）の両日、当社の国内全4工場と関係子会社である長崎中発にある全ての集塵機（129台）について、生産ラインを止めたうえでの点検および清掃を完了済み。
- ・ また、社員が安全・安心に作業できるよう、集塵機の点検・清掃マニュアルを新たに作成しそれに基づき点検および清掃を実施済み。
- ・ 差圧異常発生時には集塵機を停止。フィルターの清掃ではなくフィルター交換をルール化
- ・ 上記を織り込んだ設備停止後の手順書、集塵機内の清掃手順書作成

② 今後実施予定の施策

- ・ 差圧異常時にラインの自動停止機能の追加
- ・ エアー洗浄装置の遠隔監視・操作
- ・ 異常値管理システムの追加(機内圧力/機内風速調整等)とその遠隔モニター管理
- ・ 清掃、点検頻度の見直し
- ・ 専門業者への定期点検の委託
- ・ 保全人員の増強（派遣会社の活用）
- ・ 集塵機の勉強会の実施

(安全最優先の復旧に向けた取組み)

第3工場内において被災した生産ライン以外生産ラインすべてについて、設備点検、動作確認が完了し安全な状態が確認されましたので、生産を開始しております。

なお、当社工場内にある集塵機は、全て清掃と安全点検を完了しております。

また、藤岡工場内で代替生産が可能な製品についてはすでに代替生産を開始しており、部品供給が滞り、稼働停止となっているお客様への対応を進めております。

被災した生産ラインの復旧時期については未定です。安全最優先の生産体制で稼働再開を進めております。

最後に、2023年の爆発事故の際に再発防止策を徹底したにも関わらず、今回の事案が発生したことをあらためてお詫びいたします。関係当局の捜査等が終了し、事故の発生原因が判明し次第、再発防止策を立案し、改めてみなさまにご報告いたします。

以上